

農業を主産業とする町村のスマートタウン構想

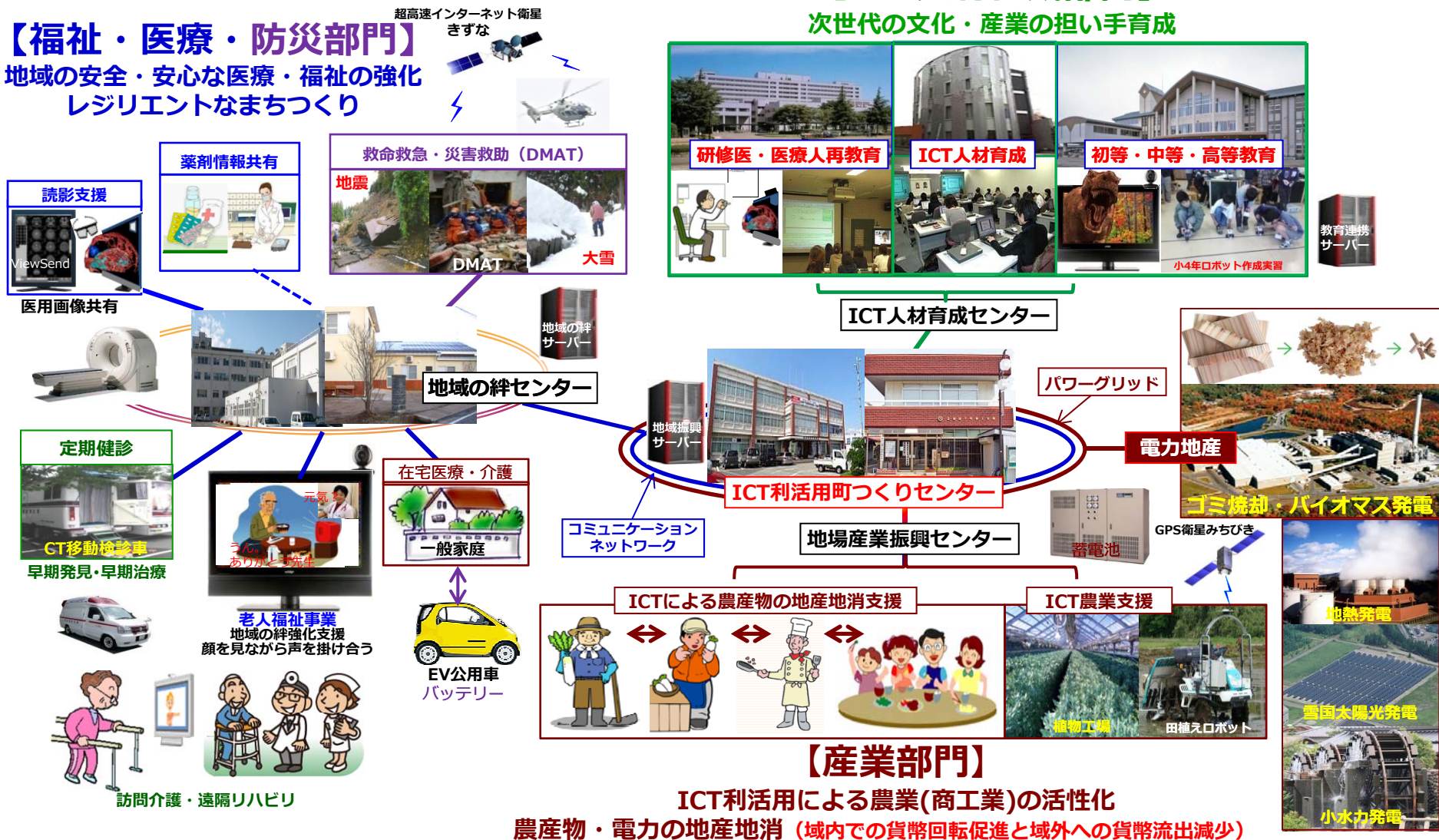
- ①地域の文化・産業の担い手のためのICT教育を普及させ、
- ②ICTを駆使した電力と農産物の地産地消を励行し、
- ③老後の安全・安心及び病後の再生のための医療・福祉（地域絆）を強化し、更に
- ④近年益々大規模化する自然災害に対して「しなやか」で、
自給力・創富力が豊かな、21世紀型町づくり（緑の分権改革）を推進する。

【ICT人材育成部門】

次世代の文化・産業の担い手育成

【福祉・医療・防災部門】

地域の安全・安心な医療・福祉の強化
レジリエントなまちづくり



ICT活用による農業(商工業)の活性化
農産物・電力の地産地消（域内での貨幣回転促進と域外への貨幣流出減少）

【バーチャルタウンの福祉・医療部門】

地域医療連携のイメージ

地域の医療機関が役割分担して一つの病院になる。

何時でも何処でも高度医療が受けられる。

医療情報共有とクリティカルパス。

医師・医療人（看護師等）による遠隔チーム医療実践。

地域の絆の窓口、介護・高齢独居暮らしの見守り・病後の再生。

医療情報(含、薬剤)共有による医療費の最適化。

医療人による
救急対応
双方向画像IP伝送



公立・大規模病院
(二・三次医療圏)



②回復期



③維持期



近くの診療所
自宅へ移動



①急性期



地域の絆コールセンター

地域の絆の窓口
独居高齢者見守り・介護
遠隔医療・行政相談
救急搬送要・不要判断等



一般診療所 (一次医療圏)
かかりつけ医



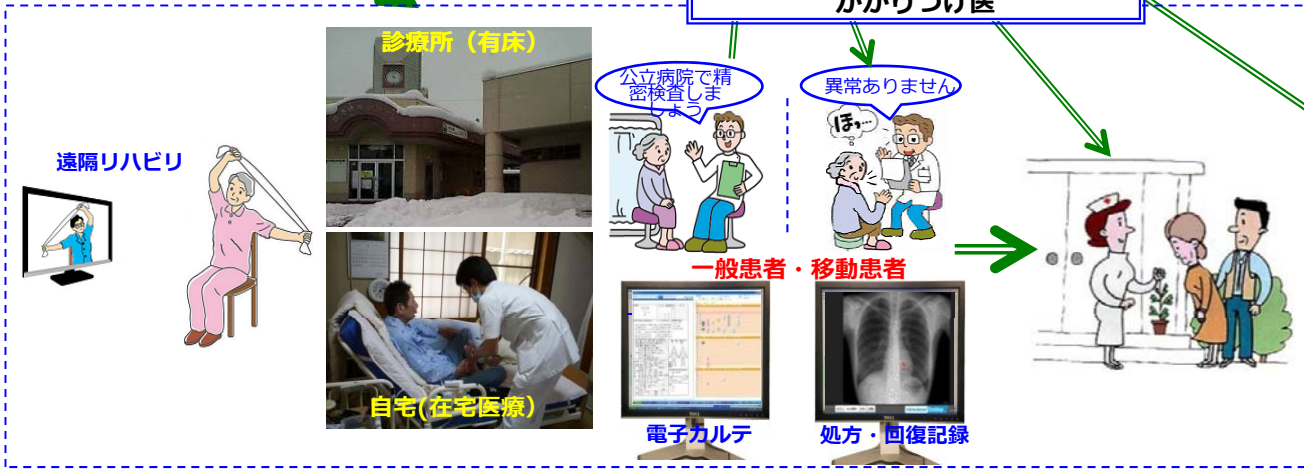
薬局・薬剤情報共有



遠隔チーム医療



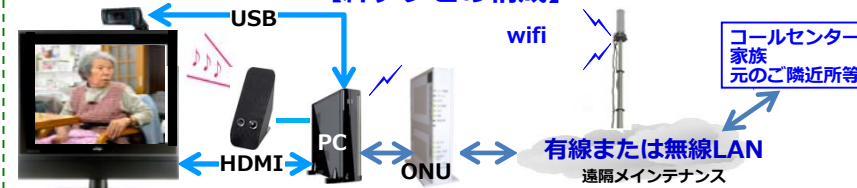
最適状態の選択
複雑系地域医療経済



システム概要

- PCと、HDMIで地デジTV、USBでPCスピーカー、と接続する。PCは常時ON。
- 呼出に出る場合：呼び出し音が聞こえたら、TV電源を入れ、TVリモコンでHDMI入力に切り換え、接続マークをクリックして顔を見ながら対話をする。
- 人を呼び出したい場合：TV電源ON、リモコンでHDMI端子に切り換え、登録リストから、呼び出したい人をクリックし、相手が映ったら対話をする。
- フロントページに、Skepe、google+又はViewSendOnline（必要に応じて）及び町村の広報のアイコンがある。1対1の会話の時はSkepeを複数の人との対話はGoole+またはViewSendOnline。
- 自治体が、有線又は無線LANのプロバイダー契約をする。集合住宅では可能な限り無線LANにする。

【絆テレビの構成】



地域の絆システム操作方法

Skype の場合

- 1) 呼び出し音が聞こえたらTVのスイッチON
- 2) リモコンでHDMI入力に切変える
- 3) フロントページで受信アイコンをクリック



【操作側】

【1対1の対話】

直接相手呼び出す

- 離れて暮らす家族同士の会話、
- 元のご隣近所との井戸端会議、
- 精神科医等の診察、
- 救急・健康、チャレンジ自立支援

コールセンター経由で呼び出す

- センターから一人暮らし高齢者への声かけ、よろず相談、
- 在宅医療(退院後のケア、リハビリ指導、等)、
- 住民の健康管理、
- 救急医療、チーム医療、DMAT

【1対Nの対話】

- 町長と町内会長等との会議
- 離ればなれのご近所と井戸端会議
- 離れ離れで暮らす家族間対話
- 遠隔学級会、チーム医療相談、成人後見人、等

簡単なリモコン操作で話し相手を決める



1対1の場合

1対Nの場合

パソコン

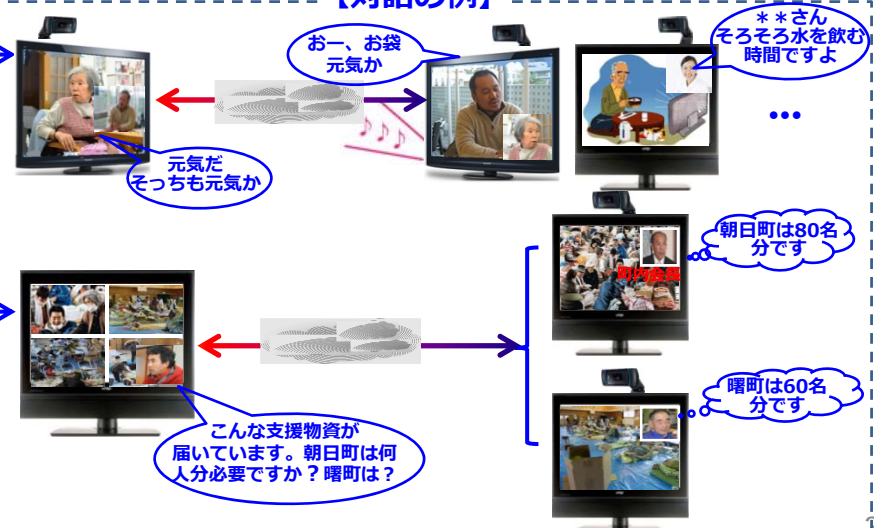
コールセンター経由



【相手側】



【対話の例】



地域医療連携協力医療人は域内どこからも閲覧可能
ペーパーレスによる経費削減と医療情報のバックアップ

在宅看護データベース
(**時**分現在)

| 氏名 | ID番号 | 主治医 | 受入施設 | 状態 |
|--------|------|------|-------|------|
| 〇〇〇 XX | ☆☆☆ | **** | ▲▲▲ | |
| ◇◇◇ | ■ | ◎◎◎◎ | ◆◆◆ | |
| ▽▽▽ | 〇〇〇〇 | XXXX | ☆☆☆ | ◇◇◇◇ |
| **** | ☆☆☆☆ | ■■■■ | ***** | ●●●● |

厚生病院MRI検査予約表
(**時**分現在)

| 月 | 日 | 時間 | | |
|----|-----|----|---|---|
| 5月 | 10日 | 〇 | 〇 | 〇 |
| | 11日 | 〇 | 〇 | 〇 |
| | 12日 | 〇 | 〇 | 〇 |
| | 13日 | 〇 | 〇 | 〇 |

会津救急受入可能病院一覧
(**時**分現在)

| 病院名 | 所在地 | 電話番号 | 担当医 |
|-----|-----|------|---------|
| 〇〇〇 | XXX | ☆☆☆☆ | ** ** * |
| □□□ | ■ | ◎◎◎◎ | |



電子カルテ IDリンク

会津地区医薬品在庫一覧
(**時**分現在)

| 薬品名 | 薬局名 | 電話番号 | 有効期限 |
|-----|------|------|-------|
| 〇〇〇 | XXX | ☆☆☆☆ | ◇◇◇◇ |
| □□□ | ■ | ◎◎◎◎ | ■■■■ |
| ▽▽▽ | ◇◇◇◇ | ★★★★ | XXXXX |



静脈認証マウスタイプ

検査画像共有システム

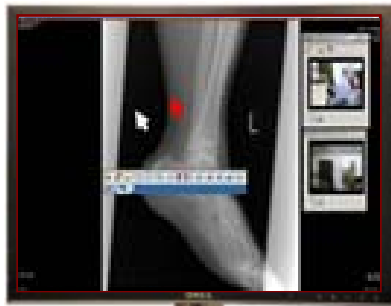
医療情報等参照システム



中核病院サーバー バックアップ

地域連携バス患者一覧
(**時**分現在)

| 患者名 | ID番号 | 主治医 | 入院病院 | 状態 |
|--------|------|------|-------|------|
| 〇〇〇 XX | ☆☆☆ | **** | ▲▲▲ | |
| □□□ | ■ | ◎◎◎◎ | ◆◆◆ | ◇◇◇◇ |
| ▽▽▽ | 〇〇〇〇 | XXXX | ☆☆☆ | ◇◇◇◇ |
| **** | ☆☆☆☆ | ■■■■ | ***** | ●●●● |



請求書・領収書 On-line printer

システム概要

電子カルテ、地域医療機関間医療情報共有システム (地域医療連携システム遠隔予約・在宅看護データベース、地域薬品在庫一覧)、災害医療情報共有システム、等

これらは、スタートアップ補助金またはリース契約をする。次年度からは電子化によって生じた利益を活用して運用する。

****町ヴァーチャルタウン**

行政と避難町会とのTV会議

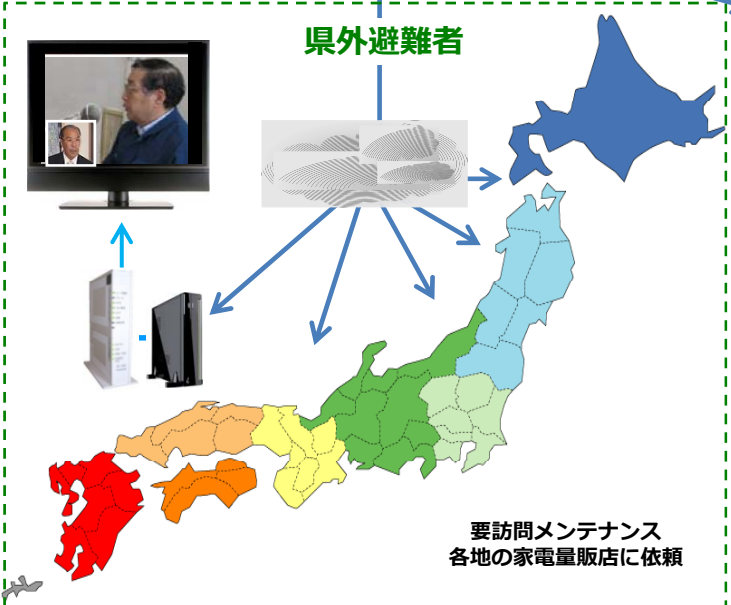
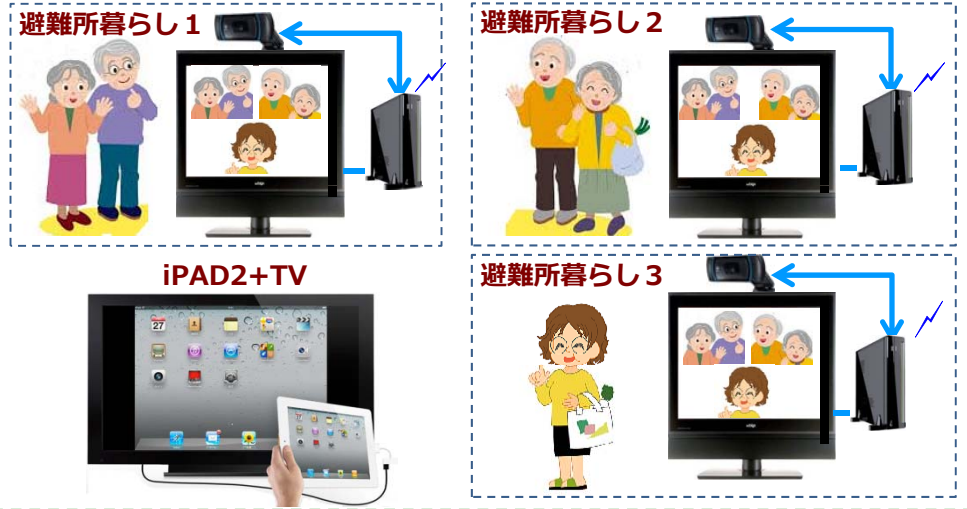


地域の絆支援システムの応用例【5頁】

**原発で住民が各地に離散して避難している
町村のヴァーチャルタウン**



井戸端会議



国・県・教育機関
医療機関・保健所・etc

地域の絆支援システムの応用例 離ればなれになった元の学校の同級生と一緒に 同時多地点遠隔講義 (e-Learning system/ViewSend Online)

サテライト校 1



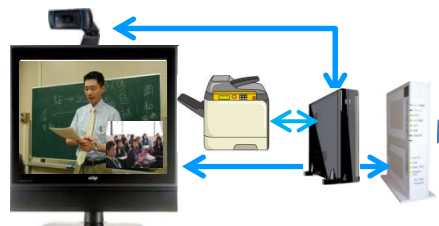
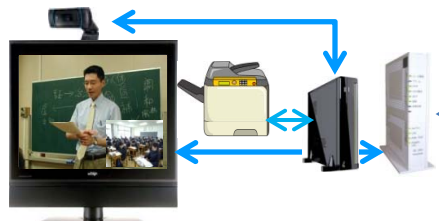
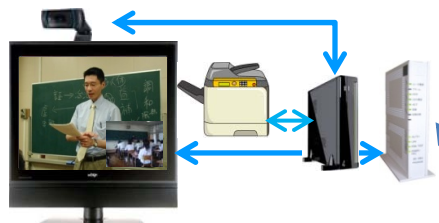
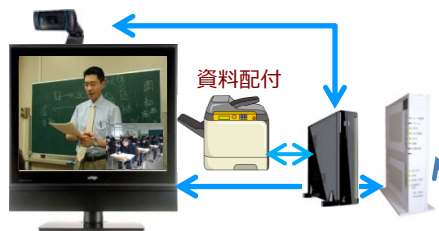
サテライト校 2



サテライト校 3



サテライト校 4



集音マイク付
HDwebカメラ

センター校



【医療教育】 (研修医後方支援)

立体画像IP伝送システム等を活用した後方支援体制を構築し、次世代の地域福祉・医療に貢献する研修医・若手医師・医療人を育成する。



協力：NHKメディアテクノロジー、FAシステム（株）、サイバーネットシステム（株）、京葉電子工業、日本ユニシス
経費：E-Learning Systemリース（含：調達費、立体画像IP伝送システム（含：調達費、設置工事費、保守費、通信運搬費）、会議費、ソフトウェア使用料、教材作成費、教育委託費、消耗品費